

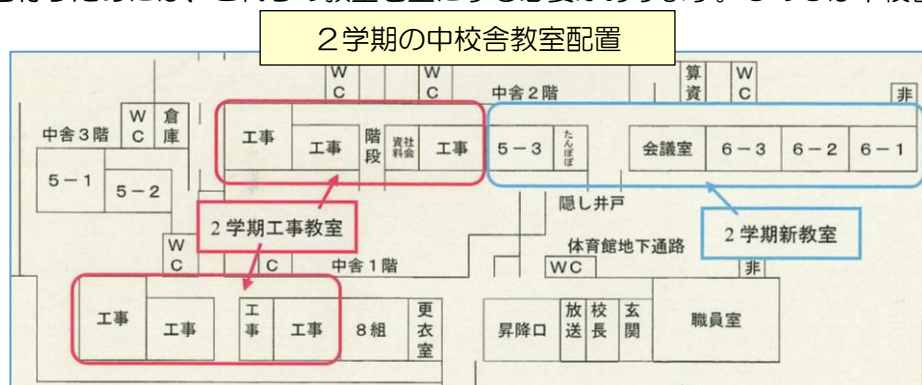


大樹のこころ

引っ越し

明日で1学期も終了という本日。大樹寺小学校では大きな作業が行われました。それは「教室の引っ越し」です。中校舎の改修工事は順調に進み、1学期には「2期目の工事」が行われていました。その工期が終了し、中校舎の一部の教室が新しく生まれ変わりました。新しくなった教室には、これまで仮設校舎で生活をしてきた6年生が入ることになります。

新たに夏休みからは「3期目の工事」が始まります。対象となるのは3年生と5の3の教室、会議室や相談室になります。工事を行うためには、これらの教室を空にする必要があります。5の3は中校舎2階の新しくなった教室へ移動します。そして3年生が、今まで6年生が使用していた仮設校舎へ引っ越しすることとなります。本日と明日にかけて約220名の子供の机・椅子が移動する大作業です。



引っ越し手順は、6年生の移動が最優先となります。仮設校舎から体育館の地下通路を使って、中校舎2階の新教室へ机を運びます。仮設とは言え、住み慣れた我が家です。ちょっぴり寂しさを感じながらの移動。しかし新教室へ足を踏み入れると、子供たちの夢が一気に広がります。新教室は「35年先の未来を見通した」と言われる設計です。新たな主となる子供たちのテンションが上がります。



6年生の移動が終わると、3年生が動き始めます。6年生と比べて体力的に劣る3年生にとっては、苦勞の多い作業です。一気に仮設校舎まで運び入れるのではなく、6年生が引っ越しをしている時間帯に、中校舎と南校舎をつなぐ渡り廊下に机を集めます。そして6年生の教室が空いたところで移動となります。小さな体で一生懸命に運ぶ姿は、とても愛らしい。6年生もお手伝いしてくれます。仮設校舎と言っても、これまで生活してきた教室より「きれいで明るい」。3年生は3年生なりに、仮設教室での生活に希望を持っているようでした。5の3の子供たちも同じです。5年生は1組・2組が1学期から新教室で生活を始めていました。3組もこの引っ越しで、やっと新しい教室での学びをスタートすることができます。その喜びはいかほどでしょうか。



220名の子供たちの机の大移動も無事に終わり、明日の椅子の引っ越しを経て、工事も最終盤に向かいます。11月には工事が終わる予定になっています。全ての工期が終わり、シン・大樹寺小の校舎が完成する日が、今から待ち遠しいです。